

# Q. 財政調整基金の活用は

## A. 自然災害にも備える



つばい たかひと  
坪井孝仁 議員

TSUBOI Takahito

町独自のコロナ対策

質疑あれこれ

臨時議会

一般質問

委員会視察

追跡

新型コロナウイルス感染症は、終息のめどが立たない状況である。経済活動の低迷やコロナ禍の第2波、第3波とつながる脅威はめげえず、この感染症による影響は計り知れない。

また、東南海地震の脅威や近年、風水害の発生が多くみられ、自然災害による被害も懸念される。「新型の感染症と大規模な自然災害が重なることは想定内として考えなければならぬ」

**Q** 豊山町地域防災計画のなかでも、新型の感染症に対しての危機管理が弱いのではないかと。また終息はしていないが、コロナ禍を機に、防災計画（避難所運営、備蓄品、感染症対策など）を見直すべきではないか。

**A** 総務部長  
災害時の避難所運営については、防災計画に基づき避難所運営マニュアルを定めている。現在、コロナ禍における避難所運営の改訂作業をすすめている。具体的には、フィジカ

ルディスプレイの確保、避難所の追加開設や感染拡大を防ぐための備蓄品を新たに購入し、配備していく予定。また、避難所受付時には、検温と問診、入室時にはマスク着用、うがい、手洗い、アルコール消毒などを実施していく予定である。

**Q** 現在、県が検討している広域防災拠点に豊山町が候補地となっている。コロナ禍によつて進捗状況に影響は。

**A** 産業建設部長  
県からは「後方支援を担う新たな防災拠点の整備に向け、求められる役割や必要な施設、規模などを検討するため、今年度当初に業務委託を発注・契約し、順調に進めている」と聞いている。

**Q** コロナ禍における新手法の犯罪が懸念されている。改善点は見いだせているか。

**A** 総務部長  
コロナ禍に関連した侵入盗などの犯罪が各地で報告されている。



また、特別給付金詐欺なども懸念される。

これまで町職員や西枇杷島警察署によるパトロールを実施してきた。今後もパトネットやチラシ、ホームページなどで注意喚起を行い、西枇杷島警察署と連携し、防犯対策を進めていく。

**Q** とよやまDENEいとや国際交流推進事業など、中止の報告を受けている。こういった状況のなかで予算執行ができなかった事業は、どのように処理していくのか。

**A** 総務部長  
コロナ禍により中止となった事業の経費は他への流用は行わず、12月から3月に減額補正を行う予定である。

**Q** 執行されなかった予算については、財政調整基金に積み立てられると認識している。そのお金積み立てられたとしても、来年度はコロナ禍による経済の低迷などで大幅な減収が予想される。財政調整基金は、コロナ禍の支援に充てるべきものであることは間違いない。

大規模災害と重なることも想定した場合、財政調整基金の活用についてどのように考えているのか。

**A** 総務部長  
財政調整基金は年度間の財源の不均衡を調整することを目的としている。本町でもコロナ禍により税収の減少などが予想される。また、台風や地震などの自然災害にも備える必要があり、しっかりと町民サービスの提供、支援ができるように管理をしていく考えである。